

SEEDS Asia の主な活動実績 まとめ

特定非営利活動法人 SEEDS Asia（シーズアジア）は、2006 年の設立以降、災害が頻発する日本を含むアジアに於いて、災害リスクの削減を通じた持続可能な社会の実現に向けて以下の活動を展開して参りました。

尚、アカウンタビリティや公共性の高い団体として、所轄庁から、一定の要件を満たしていると認定された NPO 団体に称号される認定格を 2020 年 2 月に取得しています。

1. 災害リスクの理解促進：合計 56 万人への啓発活動を実施し、防災の基礎知識・技術を普及させた

①防災/環境教育・啓発（ミャンマー、フィリピン、インド、バングラデシュ、日本、パキスタン）

- ・ 「広げる支援」としての移動式防災教室を通じた啓発
- ・ 「根付かせる支援」としての地域防災拠点の整備を通じた啓発
- ・ 過去の災害からの教訓や知見を学ぶスタディツアーの開発・実施による啓発
- ・ 地域文化の継承支援（記録誌・語り部）
- ・ 全国の大学やシンポジウム、団体イベントでの講義・講演
- ・ アジア子ども会合の実施を通じた交流による地球課題の啓発
- ・ 気象観測機材設置を通じた気象についての意識・知識の啓発

②ツールの開発（ミャンマー、フィリピン、ベトナム）

- ・ 移動式防災教室教材開発
- ・ 防災教育のカリキュラムへの統合
- ・ 気候変動・防災学習ツールの開発（79 ツール 各詳細 HP にて）

2. レジリエンスを高める防災への投資：5 つの建設案件を通じ、住民のより安全な環境を確保すると共に、アジアにおける防災力調査を 4 か国の対象地で実施し、コミュニティや自治体の防災力を「見える化」した

①防災研究・調査促進（ミャンマー、バングラデシュ、フィリピン、インド）：

- ・ 地方自治体や大学との連携：
気候変動に伴う災害防災力調査、ダッカ市都市防災力調査、学校防災力調査
- ・ 学術機関・学生・研究者との連携活動を通じた研究論文、編集書収録文への寄稿、研究会での発表等、インターンの受け入れ

②より安全な建設の推進（ミャンマー）：

- ・ 学校兼シェルター建設 2 校
- ・ より安全な木造・レンガ建設研修
- ・ よりよい建設のためのガイドブック発行

3. 災害リスクガバナンス強化：日本を含めたアジアで防災の担い手を 3,200 人輩出した

①防災指導員育成（フィリピン、ミャンマー、バングラデシュ、日本）：

- ・ 学校防災指導員の育成
- ・ コミュニティ防災指導員の育成

②防災管理体制強化促進（フィリピン、ミャンマー、日本）：

- ・ 学校防災計画作成指導

4. 備えの強化と「BBB（Build Back Better）、より良い復興」：災害時の教育継続、生活支援を 17,000 人に届けた

①緊急支援・避難者支援：

- ・ サイクロン・ナルギス（ミャンマー）、台風ハイエン（フィリピン）、ゴルカ地震（ネパール）、アチエ地震（インドネシア）、東日本大震災（気仙沼市）、平成 26 年 8 月豪雨災害（兵庫県丹波市）、熊本地震（宇城市）、平成 30 年 7 月豪雨（兵庫県丹波市、神戸市）

②コミュニティ防災促進：

- ・ パキスタン、モルディブ、インドネシア、ネパール、ミャンマー、インド、ベトナムの各地で実施